

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

⑫ 公開実用新案公報(U)

平3-38384

①

⑬ Int.Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)4月12日

// D 04 B 21/14
// D 04 B 23/16

Z 6936-4L
8929-4L

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全1頁)

⑮ 考案の名称 ラッシエル編地

⑯ 実 願 平1-99791

⑰ 出 願 平1(1989)8月25日

⑱ 考 案 者 道 家 隆 大阪府大阪市北区堂島浜2丁目2番8号 東洋紡績株式会社本店

⑲ 考 案 者 吉 田 吉 郎 福井県福井市八重巻中町2-15番地 吉田レース織物株式会社内

⑳ 出 願 人 東洋紡績株式会社 大阪府大阪市北区堂島浜2丁目2番8号

㉑ 出 願 人 吉田レース織物株式会社 福井県福井市八重巻中町2-15番地

㉒ 代 理 人 弁理士 吉田 了司

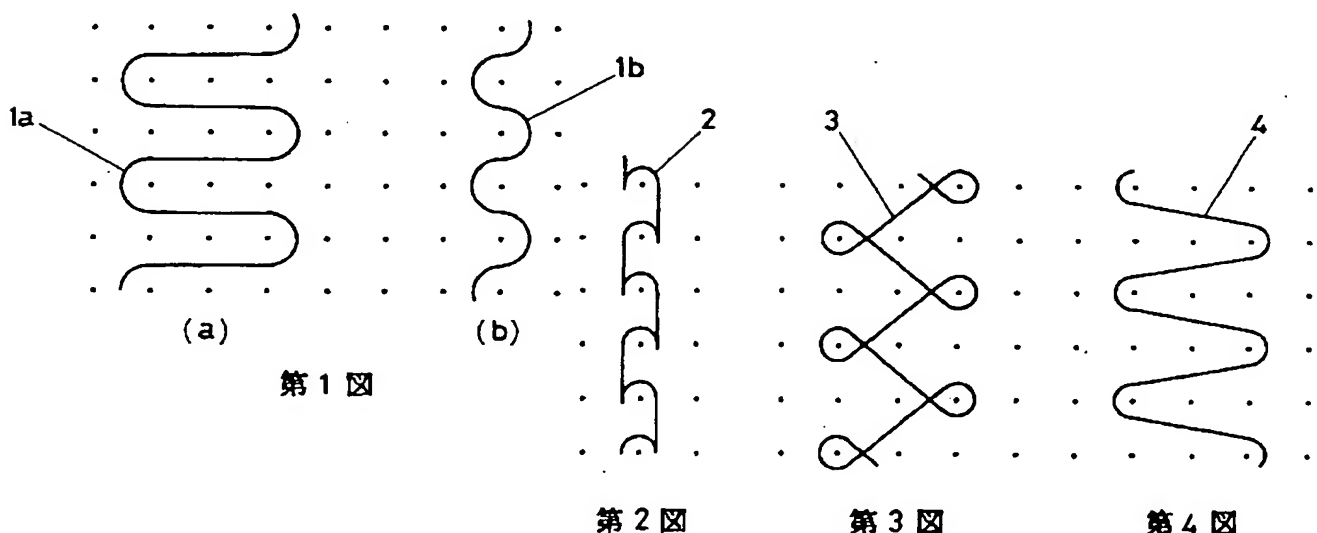
㉓ 実用新案登録請求の範囲

1枚の柄箆および3枚の地箆を備えた落下板付オフセットジャカードラッシエル機を用いて編成され、そのフロントフランチンおよびバックフランチンが組織する2種の糸の表地と、前箆、中箆および後箆が組織する3種の糸の裏地とからなるラッシエル編地において、裏地用の前箆組織および中箆組織の双方がループを有する互いに異種の編み組織に編成されていることを特徴とするラッシエル編地。

図面の簡単な説明

図面はこの考案の実施例の編組織を示し、第1図aはフロントフランチンによる第1柄糸の編組織、第1図bはバックフランチンによる第2柄糸の編組織、第2図は前箆(第2箆)による第1地糸の編組織、第3図は中箆(第3箆)による第2地糸の編組織、第4図は後箆(第4箆)による第3地糸の編組織である。

1a……第1柄糸、1b……第2柄糸、2……第1地糸、3……第2地糸、4……第3地糸。



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平3-38384

⑬ Int. Cl.⁵

// D 04 B 21/14
D 04 B 23/16

識別記号

Z

庁内整理番号

6936-4L
8929-4L

⑭ 公開 平成3年(1991)4月12日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 ラッシエル編地

⑯ 実 願 平1-99791

⑰ 出 願 平1(1989)8月25日

(⑱ 考 案 者 道 家 隆 大阪府大阪市北区堂島浜2丁目2番8号 東洋紡績株式会
社本店内
⑲ 考 案 者 吉 田 吉 郎 福井県福井市八重巻中町2-15番地 吉田レース織物株式
会社内
⑳ 出 願 人 東 洋 紡 績 株 式 会 社 大阪府大阪市北区堂島浜2丁目2番8号
㉑ 出 願 人 吉田レース織物株式会 社 福井県福井市八重巻中町2-15番地
㉒ 代 理 人 弁理士 吉田 了司

明 細 書

1 考案の名称

ラッセル編地

2 実用新案登録請求の範囲

(1) 1枚の柄箆および3枚の地箆を備えた落下板付オフセットジャカードラッセル機を用いて編成され、そのフロントフランチンおよびバックフランチンが組織する2種の系の表地と、前箆、中箆および後箆が組織する3種の系の裏地とからなるラッセル編地において、裏地用の前箆組織および中箆組織の双方がループを有する互いに異種の編み組織に編成されていることを特徴とするラッセル編地。

3 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この考案は、落下板付オフセットジャカードラッセル機を用いて編成されるラッセル編地に関するものである。

(従来の技術)

1枚の柄箆および3枚の地箆を備えた落下板付

オフセットジャカードラッセル機は、柄箆に付属するフロントフランチンおよびバックフランチンに互いに異種の糸を通すことにより、シングルジャカードバーを用いてダブルジャカードバーを用いたと同様な効果をだすことができるものであり、フロントフランチンおよびバックフランチンのそれぞれで厚地編、薄地編、穴地編を適宜に編成して所望の柄模様を現出する一方、地組織用の前箆でループを有する編組織を編成し、中箆および後箆でそれぞれループを有しない挿入組織を編成することが知られている。

(考案が解決しようとする課題)

しかしながら、上記の落下板付オフセットジャカードラッセル機で編成された従来のラッセル編地は、ループを有する編組織、例えば鎖編、シングルデンビーおよびシングルバンダイク等のオーバーラップ部分を有する編組織が地組織用の前箆のみで編成され、残りの柄箆、中箆および後箆の編成する組織がすべてループを有しない挿入組織であるため、ランが生じ易く、編地外観の変

化や伸縮性に乏しいという問題があった。

この考案は、落下板付オフセットジャカードラッセル機で編成される編地であってランが発生し難く、外観の変化に富み、伸縮性に優れたラッセル編地を提供するものである。

(課題を解決するための手段)

上記の課題を解決するため、この考案においては、裏地用の前箴組織および中箴組織の双方がループを有する互いに異種の編み組織に編成される。すなわち、この考案では、地箴中の前箴で鎖、シングルデンビー、シングルコード、シングルバンダイク等が編成され、中箴でも鎖、シングルデンビー、シングルコード、シングルバンダイク等が編成される。ただし、前箴が鎖を編成するとき、中箴は鎖以外のシングルデンビー、シングルコード、シングルバンダイク等を編成し、前箴がシングルデンビー、シングルコード、シングルバンダイクを編成するとき、中箴は鎖、またはラッピング方向が反対のシングルデンビー、シングルコード、シングルバンダイク、または1循環のコース

数が異なるシングルコード、シングルバンダイク等を編成し、上記の前箴および中箴によってプレントリコット、アトラス、ダブルバーコードおよびハーフトリコット、逆ハーフトリコット、サテンバック、シャークスキン等の変化トリコットが編成される。なお、後箴は、従来と同様の挿入組織を編成することができる。

(作用)

前箴の編み糸および中箴の編み糸が上記のプレントリコット、アトラス、ダブルバーコードおよび変化トリコット等の地組織を形成し、その表面にフロントフランチンおよびバックフランチンの2種の柄糸が挿入されて柄模様を形成し、また裏面に後箴の編み糸が挿入されて裏模様を形成する。そして、地組織を構成する前箴の編み糸および中箴の編み糸が二重にループを形成するので、一方の編み糸が切断しても、ランへの発展が他方の編み糸のループによって止められる。

(実施例)

4枚箴のオフセットジャカードラッセル機

(日本マイヤ社製、9ゲージ)を用いて、第1図～第4図に示すラッセル編地を編成した。すなわち、フロントフランチンにポリエステルマルチフィラメント系(600デニール 144フィラメント)の仮燃加工糸からなる第1柄糸1aをフルセットに供給して第1図(a)に示される6-6/0-0の挿入編(厚地編)を編成し、バックフランチンに常圧カチオン可染性ポリエステルマルチフィラメント系(300デニール96フィラメント)の第2柄糸1bをフルセットに供給して第1図(b)に示される2-2/0-0の挿入編(穴地編)を編成し、上記の第1柄糸1aおよび第2柄糸1bによって柄模様を形成した。一方、地組織用の前箄(第2箄)に赤原着したポリエステルマルチフィラメント系(150デニール72フィラメント)の第1地糸2を供給して第2図に示される2-0/0-2の鎖を編成し、中箄(第3箄)にポリエステルマルチフィラメント系(150デニール48フィラメント)の第2地糸3を供給して第3図に示される4-6/2-0のコードを編成し、後箄(第4箄)にポリエス

テルマルチフィラメント系(250デニール48フィラメント)の第3地糸4を供給して第4図に示される0-0/6-6の挿入編を編成した。

得られたラッセル編地は、中箴(第3箴)の編系がコード組織を形成しているので、上記実施例の中箴組織を6-6/0-0の挿入組織に置換する以外は上記実施例と同様に編成した比較例の編地に比べて、外観が凹凸感に富み、また通気性が250 cc/cm²秒になって比較例の約1/2に低下すると共に、第1地糸2および第2地糸3のいずれか一方を切断してもランが全く生じなかった。

(考案の効果)

この考案は、4枚箴落下板付オフセットジャカードラッセル機を用いて編成されるラッセル編地において、裏地用の前箴および中箴の双方でループを有する互いに異種の編み組織を編成したものであるから、上記の中箴で単なる挿入組織を編成した従来のラッセル編地に比べて、編地の外観が凹凸感に富み、通気性が低下し、また伸縮

性に優れ、かつランの発生することがなく、椅子張り地として極めて好適である。

4 図面の簡単な説明

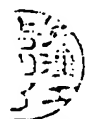
図面はこの考案の実施例の編組織を示し、第1図(a)はフロントフランチンによる第1柄系の編組織、第1図(b)はバックフランチンによる第2柄系の編組織、第2図は前箆(第2箆)による第1地系の編組織、第3図は中箆(第3箆)による第2地系の編組織、第4図は後箆(第4箆)による第3地系の編組織である。

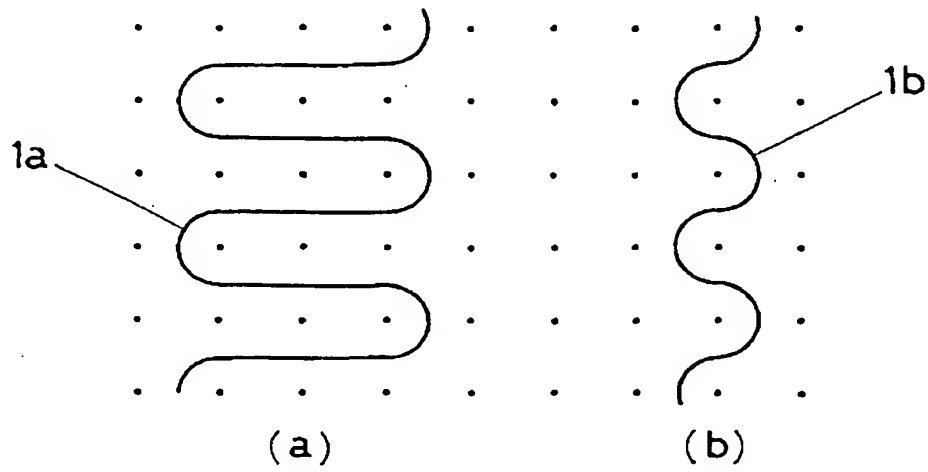
1a: 第1柄系、1b: 第2柄系、2: 第1地系、
3: 第2地系、4: 第3地系。

実用新案登録出願人 東洋紡績株式会社

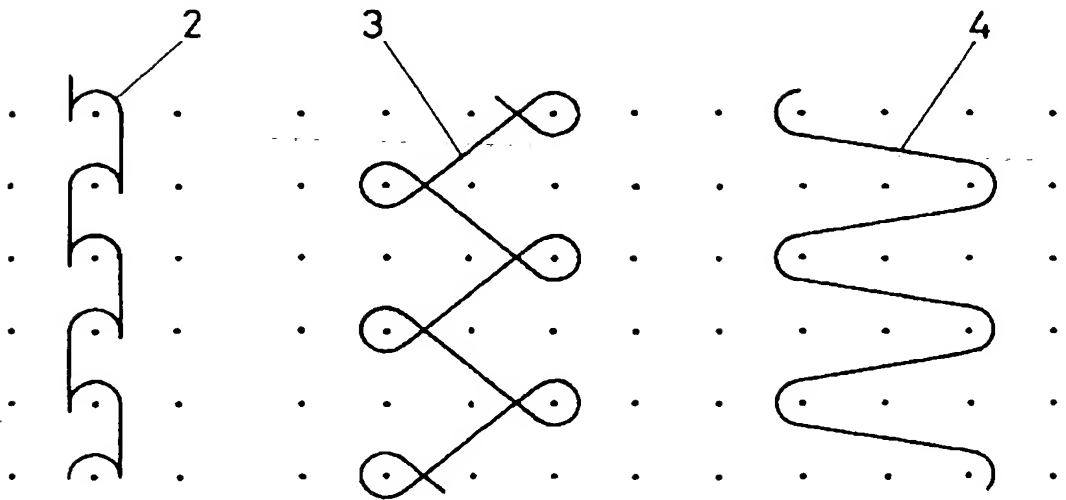
“ 吉田レース織物株式会社

代理人 弁理士 吉田了司





第 1 図



第 2 図

第 3 図

第 4 図

322

実開 3-38384

出願人 東洋紡績株式会社(ほか 1 名) 代理人 弁理士 吉田了司

PATENT ABSTRACT OF JAPAN are attached herewith. The following is a summary of the document A.

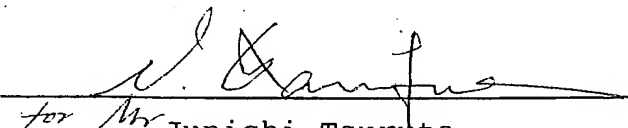
Title of the Utility model patent: Raschel knit fabric

Abstract: A raschel knit fabric formed of a three-bar knit ground with a pattern effected by single guide bar. Using a raschel machine with off-set jacquard equipped with fall plate, the knit ground is fabricated by three kinds of warp thread carried respectively by the front, middle and back guide bars while the patterning is performed by means of works of the front and back knock over sinker (platine). The knit ground construction is formed by knitting the thread carried on the front guide bar and the thread carried on the middle guide bar in knit-constructions different from each other. In the drawings, 1a, a first patterning thread; 1b, a second patterning thread; 2, a first ground thread; 3, a second ground thread; and 4, a third ground thread. No embodiment of specific pattern effected is described.

In the applicants' view, the patent documents have no relevancy with the presently claimed invention.

Thank you for your cooperation in this case.

Very truly yours,


for Mr. Junichi Tsuruta
Head of Patent Department
A. AOKI, ISHIDA & ASSOCIATES

MMA/tm

Encls.: Patent documents
Abstracts

P.S. Please acknowledge receipt by return facsimile.